



# コンサドーレ旭川が初代王者に輝く！ 平成19年度第1回JFAプレミアカップ旭川地区予選

平成19年度第1回JFAプレミアカップ旭川地区予選は、7月31日、コンサドーレ旭川と緑が丘中学校の間で決勝が行われました。試合は前半からコンサドーレ旭川のペースで進み、11分岸本、26分石井が得点をあげます。後半にも玉田が2得点し、4対0という予想外の大差で第1回の優勝を果たしました。なお、両チームは10月に千歳、札幌で行われる全道大会に出場します。

**決勝** 7月31日(月) コンサフィールド東川  
**コンサドーレ旭川 4 - 0 (2 - 0) 緑が丘**

得点者 岸本(11分)、石井(26分)、玉田(43分、50分)(コ)

警告 石井、後藤(コ)

コンサ GK武島 DF後藤、西垣、宮本 MF高木、高橋、石井、細岡、玉田

FW原田、岸本 交替/FP高山、森木、岡本

緑が丘 GK吉田 DF館山、佐藤、大田、國本 MF田端、川口、相澤、横田

FW土田、久保 交替/GK今多 FP豊田、藤原、津田、稲尾

主審/西川(永山南) 副審/對馬(東神楽)、谷山(神楽) 第4審/柴田(北星)

【戦評/則末(啓北)】

昨日の準決勝でともに延長戦で勝ち上がった両チームだが、疲れも見せずキックオフから好試合となった。序盤は緑が丘がボールを支配する。田端が中盤で精力的にボールを奪い、土田のポストプレーから右サイド横田のスペースへ効果的なボールが供給され、崩しにかかる。しかし、コンサも宮本が危険なゾーンをよく対応し、失点を防ぐ。この時間帯をしのいだコンサは次第にポランチの高橋が両サイドにボールを散らし、岸本、石井への



くさびのボールもよく入るようになり、攻撃のリズムがよくなる。また、左サイドからは高木がスピードを生かしてドリブルで崩し出す。11分コンサは前線で相手のボールをカット、MF細岡がゴール前で待つ岸本に送ると、岸本は右足でゴールにたたき込み先制点をあげる。この先制点でゲームはコンサに傾き出す。MF玉田、高橋の中盤でのボールを拾う場面が多くなり、FW石井とのコンビネーションから優勢に試合を進める。中盤から縦に急がず、左右のサイドにボールを収めるため、昨日とは違って丁寧なサッカーを展開。17分にはCKから岸本がヘッドし、クリアされたボールを拾った高木が決定機を迎える。21分には高橋から玉田へとパスをつなぎ、右サイドを破った原田のセンタリングからチャンスをつかむ。さらに高木の左からのセンタリングに石井が飛び込み、GKの前でボールを受け反転してシュートを放つなど追加点のチャンスを虎視眈々と狙う。そして26分コンサは追加点を奪う。高木のスローインをう

けた石井が中央ヘドリブルし、約30mの距離からロングシュート。強烈な弾道を描きながらGKの頭上を破った。何とかリズムを取り戻したい緑が丘は、MF豊田、横田を中心にカウンターから活路を見いだそうとするが、コンサのCB後藤も鋭い出足でインターセプトをくり返し、反撃の隙を与えない。

後半も最初のシュートは高木のパスから石井が放つ。コンサは岡本が中盤から右サイドに進出、西垣のオーバーラップで右サイド深くまでボールを運び、追加点を狙う。緑が丘も大田が前半より高い位置でプレーできるようになったため、相澤、豊田にボール入りシ

ュートチャンスも生まれ出す。しかし、この勢いも今日のコンサにはそがれてしまう。41分には岡本が右サイドで相手DFと競り合いながらふんばりセンタリング。岸本がフリーでシュートを放つ。GK今多の正面をつくが得点の気配を感じさせる攻撃だった。42分には25mのFKを石井がうねりをあげるような低いシュートを放つ。緑が丘DF館山にゴール前でクリアされたが、これらの攻撃は43分ついに実を結ぶ。中盤でボールを受けた玉田が左へ展開、受けた岸本が左足でシュートを放つと、GKがキャッチできず。つめていた玉田が流し込んで3点目をあげる。さらに50分には石井が前線でねばり強くボールを奪い、ゴール前に折り返すと玉田が豪快に蹴りこんで4点目をあげた。緑が丘も豊田、田端を中心に反撃を試みるが及ばず、コンサドーレ旭川が初代王者に輝いた。



第1回の王者に輝いたコンサドーレ旭川ユースU-15



コンサドーレ旭川とともに全道大会の出場権を得た旭川市立緑が丘中学校

## 大会の記録

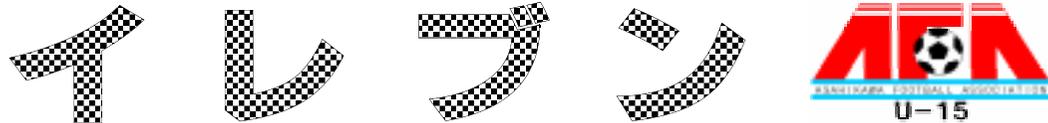
優勝 コンサドーレ旭川ユースU-15 第3位 神楽・東神楽(神楽中・東神楽中)

準優勝 旭川市立緑が丘中学校 HOKUEI(北星中・永山中)

得点王 石井 源(コンサドーレ旭川U-15 1年) 7得点

### 優秀選手

- |                      |                    |
|----------------------|--------------------|
| GK 浅野 直也(永山中学校2年)    | FP 猪川 智博(緑が丘中学校1年) |
| 永井 建次(啓北中学校1年)       | 斉藤 哲平(神楽中学校2年)     |
| FP 玉田 昌平(コンサドーレ旭川2年) | 鳥毛 勇紀(東神楽中学校2年)    |
| 石井 源(コンサドーレ旭川1年)     | 本田 翔也(北星中学校2年)     |
| 岸本 裕希(コンサドーレ旭川1年)    | 富樫 拓郎(広陵中学校1年)     |
| 高橋 昌訓(コンサドーレ旭川1年)    | 山本 信司(永山南中学校1年)    |
| 田端 真一郎(緑が丘中学校1年)     | 田中 椰也(明星中学校1年)     |
| 久保 輝起(緑が丘中学校1年)      | 佐藤 恒(忠和中学校1年)      |



## コンサドーレ旭川と緑が丘が全道へ！ 平成19年度第1回JFAプレミアカップ旭川地区予選

平成19年度第1回JFAプレミアカップ旭川地区予選は、7月30日全道大会をかけた準決勝が行われました。第1試合は、HOKUEIの集中した守備に苦しんだ緑が丘ですが、延長に入った61分豊田が決勝点をあげ、決勝へと駒を進めました。第2試合は、7分に神楽・東神楽の斉藤がC Kから先制点を決めます。この失点でリズムの狂ったコンサドーレ旭川ですが、36分に高橋がC Kを直接決め同点に追いつきます。その後も波に乗れないコンサドーレ旭川でしたが、延長に入った64分高木が決勝点を蹴りこみ全道への切符を手に入れました。

### 準決勝 7月30日(月) コンサフィールド東川 緑が丘 1 - 0 (0 - 0, 延 1 - 0) HOKUEI

得点者 豊田(61分)(緑)  
緑が丘 GK今多 DF館山, 佐藤, 大田, 國本 MF田端, 川口, 猪川, 横田  
FW土田, 久保 交替/F P豊田  
HOKUEI GK浅野 DF加藤, 河原崎 MF安藤, 新重, 本田, 加賀谷, 吉田  
FW柏田, 佐藤 交替/F P中島  
主審/添田(広陵) 副審/目黒(神楽), 川口(コンサ) 第4審/森(忠和)

【戦評/則末(啓北)】  
序盤から膠着状態が続いた準決勝第1試合。互いに中盤でプレッシャーをかけあい、相手に自由にプレーさせない。緑が丘は猪川が中盤をコントロール。MF田端もからんで、右の横田、左の川口のサイドから攻撃をしかける。HOKUEIは、緑が丘にボールの支配を許しながらも、中盤では新重が幅広く動き、CB河原崎が最終ラインで緑が丘の攻撃を防ぐ。攻撃ではMF本田を起点に攻めの糸口をさぐる。10分過ぎから緑が丘は猪川がボールに触れる回数が増え、HOKUEI陣内でのプレーが多くなる。12分には猪川が左サイドを単独突破。ゴールラインまで持ち込み、マイナスのボールを入れるが惜しくもFWが合わせることができず。15分、16分にはFW久保、MF横田がシュートを放つなど、徐々にシュートチャンスが増えてくる。しかし、緑が丘の左サイドの攻撃にHOKUEI DF加藤もよくくわいつき、ぎりぎりのところで対処する。GK浅野の判断もよく、積極的に前に出て、ゴールマウスを守る。緑が丘はMF田端が中盤で激しく動き、何とかチームの攻撃を活性化させようとし、右サイドの横田を走らせるスループアスを送るが、HOKUEI吉田もスペースをケアし、対応する。前半は緑が丘が優勢に試合を進めるが、決定機をものにできず無得点で終わった。



後半も緑が丘が攻撃のリズムをつかむ。3分には川口、4分には田端のパスから久保が得点機を迎える。HOKUEIは緑が丘田端、猪川の中盤でのボール奪取の前に、DFラインが後退し、苦しい展開を強いられる。緑が丘左サイドバックの大田にもボールが集まり始め、効果的な攻撃参加のもと、川口とのコンビネーションも冴え、敵陣深くまで進出する機会も多くなる。44分には久保と川口のワンツーから久保が抜け出しシュートを放つがわずかに左に外れる。46分には豊田のスループアスに左にポジションを変えた横田が抜け出し、折り返す。このボールを田端が合わせるがGK浅野がストップしてピンチを逃れる。49分には田端が左サイドを突破し、センタリング。川口がワントラップしシュートを放つがGK

浅野の正面をつく。HOKUEIは攻撃の中心本田までもが自陣に戻って守備し、緑が丘に得点の機会を与えない。DF安藤も集中した守備を見せ、緑が丘は幾度となく訪れた得点チャンスを生かせない。試合は60分戦って決着がつかず延長戦に突入する。そして61分ついに均衡が破れる。緑が丘猪川のスループアスを受けた豊田がGKまでもかわし、左足で無人のゴールに流し込み、決勝点を奪った。70分間にわたって、攻撃を繰り返した緑が丘が、フィニッシュの精度には欠きながらも1対0で勝ち、全道への切符を手にした。

### コンサドーレ旭川 2 - 1 (0 - 1, 延 1 - 0) 神楽・東神楽

得点者 高橋(36分), 高木(64分)(コ) 斉藤(7分)(神)  
コンサドーレ GK武島 DF後藤, 西垣, 宮本 MF高橋, 細岡, 玉田, 高木, 岸本  
FW森木, 石井 交替/F P岡本, 原田, 高山  
神楽東 GK根本 DF角田, 寺林, 小澤 MF鳥毛, 斉藤, 小川, 猪上, 平岡  
FW山川, 原田 交替/F P中山, 駒谷  
主審/西川(永山南) 副審/村上(永山), 高橋(明星) 第4審/添田(広陵)

【戦評/則末(啓北)】  
序盤、コンサドーレ旭川はFW石井のポストプレーに玉田、細岡の中盤がからんで、キックオフから何度も得点のチャンスをつくる。開始から3分間に、玉田のパスから細岡のシュート、森木のC Kから細岡のヘッド、細岡から森木のシュートと3度の決定機を迎える。その後も高木の左サイドの突破などで、度々シュートチャンスを得たコンサドーレだが、このチャンスを生かし切れなかったために思わぬ落とし穴が待っていた。7分神楽・東神楽はコンサドーレ陣内に進出した2度目のチャンスから得点をあげる。鳥毛のC Kがピタリと斉藤の頭にあい、見事なヘディングシュート。DFにあたりながらもボールはゴールネットを揺らし、神楽・東神楽が先制した。先制点を上げられたことで、コンサドーレ旭川のリズムは完全に狂う。1点を追いかける焦りと、神楽・東神楽の速いプレッシャーの前に、中盤でのボゼッションができず、簡単なミスが目立ち始める。何とか左サイドの高木、右サイドの岸本を使って攻撃をしかけるが、神楽DFの寺林、小澤が粘り強い対応の前にシュートミスは連発。DF角田もシュートをよくブロックし、コンサドーレの攻撃をストップする。中盤では鳥毛、斉藤が献身的にプレー。23分には鳥毛がカウンターからあわや追加点というシュートを放つ。26分コンサドーレDF西垣とFW森木のコンビネーションから右サイドを崩し、センタリングしたボールもMF平岡が相手のシュート寸前でカバーリングする。ゴール前を集中して守る神楽・東神楽に対してリズムをすっかり崩したコンサドーレ攻撃陣は、いたずらに密集地帯をドリブルでつき、神楽・東神楽の網にかかる。それではとロスタイムに森木のC Kを高木がフリーでヘッドするが、わずかにゴール右へと外れる。



後半に入りコンサドーレは岸本と高木の両サイドからの攻撃が多くなる。36分コンサドーレは高橋の左C Kが直接ゴールインし、やっとの思いで同点に追いつく。しかし、同点にしたとは言え、精神的に追いつめられたコンサドーレは、ボール支配率こそ高いものの、ボールを保持する時間が長く、スムーズなボールボゼッションができない。ボールがクラウンダーで展開されることも少ないため、神楽・東神楽守備陣を崩しきれない。相手DFにパスを引っかけたり、ワンタッチで前を向けなかったりと、パスワークに時間がかかり、コンサドーレ特有の連動した動きが陰を潜める。そのため長いフィードが多くなり、自陣を固める神楽・東神楽守備陣に跳ね返される。高さでも寺林、角田がよく対応し、持ちこたえる。27分のコンサドーレの波状攻撃も、FW石井のシュートをGK根本がキャッチする。さらに岸本と石井の個人技でシュートチャンスをつくるものの、ゴールの枠を外れる。

試合は1対1のまま延長戦に突入。延長戦の開始早々は鳥毛、斉藤が相手DFの背後をねらってパスをしかける。しかし、コンサドーレは64分玉田のスループアスをペナルティエリアで高木がフリーで受ける。高木は中に一二歩切れ込み、右足を一闪するとボールはゴール左隅に決まる。健闘していたGK根本も一歩も動けず。集中していた神楽・東神楽守備陣もこの瞬間はマークのずれてしまった。試合は結局この1点が決勝点となったが、コンサドーレ最後まで苦しめた神楽・東神楽の粘り強さは素晴らしいものがあった。



## クラブ申請2チームが4強に勝ち進む！

### 平成19年度第1回JFAプレミアカップ旭川地区予選

平成19年度第1回JFAプレミアカップ旭川地区予選は、7月29日準々決勝4試合がコンサフィールド東川で行われ4強が出揃いました。今大会は、クラブ申請チームも2チームありましたが、その2チームが準決勝に進出しました。永山と北星の合同チームHOKUEI、神楽と東神楽の合同チーム神楽・東神楽ともに、急増チームとは思えないような粘りのあるサッカーを展開し、明星、広陵を零封しました。その他、コンサドーレ旭川、緑が丘の2チームが準決勝に進みました。

#### 準々決勝 7月29日(日) コンサフィールド東川 緑が丘 6 - 0 (3 - 0) 永山南

得点者 土田(12分)、豊田(20分)、相澤(23分)、田端(33分)、川口(42分、59分)(緑)  
緑が丘 GK 今多 DF 館山、佐藤、大田、國本 MF 田端、川口、猪川、相澤  
FW 土田、横田 交替/GK 宮崎、吉田 FP 藤原、久保、津田、豊田  
永山南 GK 西村 DF 鈴木、中村、橋本 MF 近藤、上用、猪又、萩谷、梶谷 FW 佐藤、松元  
主審/日里(啓北) 副審/添田(広陵)、則末(啓北) 第4審/森(忠和)

キックオフ直後は永山南がボールを支配するが、12分緑が丘は土田が左20mの距離からGKの頭上を破る直接FKを決め先制する。20分には交替出場したばかりの豊田がCKを押し込み2点目をあげる。23分にも相澤がミドルシュートを決め3対0で前半を折り返す。山本を欠く永山南は松元、猪又を中心に反撃のチャンスをつかすが、館山を軸とする緑が丘守備陣を崩せず。逆に緑が丘は後半、田端と川口の2得点で永山南を突き放した。



#### HOKUEI 0 - 0 (0 - 0) <PK4-3> 明星

HOKUEI GK 浅野 DF 本宮、加藤、河原崎 MF 安藤、新重、本田、加賀谷  
FW 柏田、吉田、堀田  
明星 GK 黒田 DF 布田、田中、太田、大平 MF 片山、柊丸、稲田、佐々木  
FW 大森、白井 交替/FP 坂本、強谷  
主審/土岐(広陵) 副審/佐藤(永山南)、小林(緑が丘) 第4審/日里(啓北)

HOKUEIはMF本田を基点にサイドから攻撃。明星は中盤から縦にスルーパスを多用し、攻め込むもお互い決め手を欠く。後半明星が優勢にゲームを進め、37分には強谷が抜け出しシュートを放つもポストに嫌われ入らず。HOKUEIもカウンターから本田がミドルシュートを放つもクロスバーにあたり入らない。結局試合は0対0のままPK戦に突入。HOKUEI GK 浅野の活躍で、準決勝に駒を進めた。



#### コンサドーレ旭川 2 - 1 (2 - 0) 啓北

得点者 森木(1分)、石井(22分)(コ) 笠原(59分)(啓)  
警告 玉田(コ)

コンサ GK 武島 DF 後藤、西垣、宮本 MF 森木、高橋、石井、細岡、玉田  
FW 高木、岸本 交替/FP 岡本、高山、原田  
啓北 GK 永井 DF 高橋、干場、斉藤、池田 MF 保田、藤原、若田、長堀  
FW 笠原、重綱 交替/FP 近藤

主審/西川(永山南) 副審/嵯峨(緑が丘)、森(忠和) 第4審/佐藤(永山南)  
コンサは速いパスワークから開始1分、右からのパスを受けたMF森木が中央からGK

の位置をよく見てシュートを決める。啓北も右サイドのスペースを笠原が進入するも、コンサの速いカバーリングにあい攻めきれない。22分中央から左サイドに流れてボールを受けた石井がゴール右に丁寧なたたきこみ、追加点を奪う。後半もコンサが怒濤のように攻めるが、啓北GK永井の好守もありコンサは追加点をあげられない。58分啓北はGK永井のキックを藤原がヘッドで流し、走り込んだ笠原が落ちていて決め1点を返す。しかし、反撃もここまで。細岡、玉田を中心に中盤を支配したコンサが準決勝へと進んだ。



#### 神楽・東神楽 1 - 0 (0 - 0) 広陵

得点者 鳥毛(34分)(神)  
神楽東 GK 根本 DF 平岡、角田、寺林、小澤 MF 鳥毛、斉藤、小川、猪上  
FW 山川、原田 交替/FP 中山

広陵 GK 新井田 DF 高橋、水野、上川  
MF 伊藤、田中、大沼、寺村  
FW 富樫、横 交替/FP 錦戸

主審/高橋(明星) 副審/川口(コンサ)、柴田(北星)  
第4審/村上(永山)

前半は両チームとも中盤で速いプレッシャーをかけ、DFラインの裏へサイドの選手やFWが走り込む展開。やや神楽・東神楽が優勢に試合を進める。広陵はMF田中を起点に右サイド大沼を走らせ攻撃をしかけるが、前半は互いに決め手のないまま0対0で折り返す。34分神楽・東神楽はクリアボールを拾ったMF鳥毛が無人のゴールへ約25mのシュートを決め先制点をあげる。その後広陵は田中を軸にFW富樫らがゴールに迫るも、神楽・東神楽守備陣の集中も切れず、1対0で勝利した。



#### 1回戦 7月28日(土) 啓北中学校

#### 永山南 2 - 0 (0 - 0) 東明

得点者 猪又(2分)、山本(57分)(永)  
永山南 GK 西村 DF 鈴木、中村、梶谷 MF 近藤、山本、上用、猪又、萩谷  
FW 佐藤、松元 交替/FP 橋本

東明 GK 若田 DF 山崎、清水、宇野 MF 山川、金生、荒井、松井、木下  
FW 佐々木、石川 交替/FP 斉藤、黒澤、長谷川

主審/日里(啓北) 副審/松山(コンサ)、土岐(広陵) 第4審/則末(啓北)

MF山本を中心に攻撃を組み立てる永山南は、MF近藤、FW松元がスピードにのって右サイドを崩しにかかる。東明は2年生の山崎を中心にディフェンス。同じく2年生のMF松井のゲームメイクで荒井が惜しいシュートを放つなど、前半は永山南がやや優勢ながらほぼ互角の戦い。後半開始早々の32分、永山南はMF猪又がミドルシュートをゴール左上に突き刺し先制する。東明も松井を中心に反撃するが、57分山本に駄目押しゴールを決められ万事休す。



#### 神楽・東神楽 0 - 0 (0 - 0) <PK1-0> 忠和

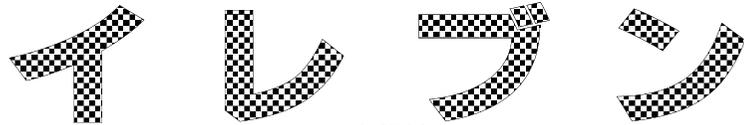
神楽東 GK 根本 DF 平岡、角田、寺林、小澤 MF 鳥毛、富田、斉藤、小川、猪上  
FW 山川 交替/FP 原田、駒谷

忠和 GK 長濱 DF 鈴木、伊井、野島 MF 落合、佐藤、畑中、佐々木、大西  
FW 小山、笠松

主審/高橋(明星) 副審/小林(緑が丘)、柴田(北星) 第4審/則末(啓北)

試合前から叩きつけるような大雨に見舞われ、あっという間にグラウンドがプール状態となったため、互いにパスをつなぐことをあきらめ、地域を奪い合うキックアンドラッシュの応酬となる。しかし、ピッチの悪さにより互いにいいキックすらままならない状態。それでも、パワフルに勝る神楽・東神楽がMF鳥毛、斉藤のロングフィードにより、チャンスを得る。また、左サイドから小川がチャンスをつくる。忠和はGK長濱が鋭い飛び出しで神楽・東神楽の縦へのボールに対応。DF伊井も粘り強く守備し、何とか無失点にしのぐ。攻撃も佐藤を中心に何度かチャンスはあったものの得点できず。PK戦では互いに足場に注意を払いすぎミスキックを連発。9人のキッカー中、斉藤だけが決めて神楽・東神楽が1対0で勝利した。





## 新設されたU-13のフレッシュな戦いが開幕 平成19年度第1回JFAプレミアカップ旭川地区予選

平成19年度第1回JFAプレミアカップ旭川地区予選は、7月21日に開幕、7月28日まで予選リーグが行われました。予選リーグでは、神楽・東神楽（神楽中・東神楽中のクラブ申請）やHOKUEI（永山中・北星中のクラブ申請）といった合同チームや、2年生の早生まれの選手が中核となっているチーム（広陵、コンサドーレ旭川、東明）などが順調にグループリーグ突破を果たしました。

### 第1節 7月21日（土）

第1回第1節は神楽中学校、コンサフィールド東川を会場に7試合が行われました。神楽会場の第2試合では広陵と東光が対戦。広陵はMF田中を軸に、FW富樫のスピードを生かした攻撃から10分、29分富樫が連続得点をあげます。47分にも大沼が追加点をあげ3点差をつけました。東光もMF田中を中心に終盤反撃、52分加賀美、56分CKから芥川が1点差に追い上げる得点をあげましたが及ばず広陵が逃げ切りしました。第3試合では啓北と永山南が対戦。永山南はMF山本を起点に啓北の陣内に攻め込みます。しかし、啓北は縦への速いプレーから藤原、西根が得点をあげます。後半は笠原の活躍もあり、藤原がハットトリック、6対1で大勝しました。



コンサフィールド会場の第1試合では、FKから附属阿部に決められ一度は同点に追いつかれたコンサドーレ旭川ですが、後半攻撃陣が爆発。玉田のハットトリックなどで10対1で快勝しました。第2試合はMF本田が中心に攻め込んだHOKUEIですが、忠和は24分カウンターから大西が先制点を奪います。この1点で逃げきるかと思われましたが、HOKUEIは49分オウンゴールで同点に追いつき、引き分けとしました。

#### 神楽中学校

- A 緑が丘 4 - 0 (1 - 0) 神楽・東神楽 相澤, 田端, 猪川, 土田 (緑)
- B 広陵 3 - 2 (2 - 0) 東光 富樫, 大沼 (広) 加賀美, 芥川 (東)
- D 啓北 6 - 1 (2 - 1) 永山南 藤原, 西根, 笠原 (啓) 松元 (永)

#### コンサフィールド東川

- E コンサドーレ旭川 10 - 1 (2 - 1) 附属 玉田, 森木, 岡本, 高木, 石井, 岸本 (コ) 阿部 (附)
- C HOKUEI 1 - 1 (0 - 1) 忠和 0・G (H) 大西 (忠)
- B 明星 6 - 0 (2 - 0) 上富良野 大森, 大平, 片山, 布田 (明)
- A 東陽 1 - 0 (0 - 0) 春光台 奥山 (東)

### 第2節 7月22日（日） 神楽中学校

第2節は7月22日に神楽中学校、広陵中学校を会場に7試合が行われました。第1試合は神楽・東神楽が中盤を支配し、17分原田がドリブルシュートを決め先制します。さらに24分にはゴール前の混戦から斉藤が押し込んで追加点をあげます。56分にも斉藤がだめ押し点をあげた神楽・東神楽が東陽を3対0で破りました。第2試合は東光と上富良野が対戦。田中を中心とした攻撃でゴールをねらう東光は8分加賀美のミドルシュート、13分ゴール前のこぼれ球を五島のプッシュにより2点を奪います。48分加賀美、53分五島が追加点をあげた東光が快勝しました。第3試合は、前半山本を中心に攻撃した永山南に対し、北門は速攻から反撃する展開となります。40



分永山南は山本が左45度の位置からドリブルで持ち込み決勝点をあげ、北門を振り切りしました。第4試合は東明が押し気味に試合を進めますが得点できず前半は0対0で折り返します。後半に入り、40分黒沢の個人技で相手3人をかわして先制。しかし、残り5分附属佐藤のミドルシュートがきまり、1対1の引き分けに終わりました。

広陵会場の第1試合は広陵と明星が対戦。両チームとも丁寧なパスワークで一進一退の攻防となりましたがゴールを割ることができず、スコアレスドローに終わりました。第2試合は14分に右クロスに合わせて川口が先制点を奪い先制します。前半こそ1点でしたが、後半緑が丘攻撃陣のパスに冴えが見られ、7点を奪い春光台を一蹴しました。

#### 神楽中学校

- A 神楽・東神楽 3 - 0 (2 - 0) 東陽 原田, 斉藤 (神)
- B 東光 4 - 0 (2 - 0) 上富良野 加賀美, 五島 (東)
- D 永山南 1 - 0 (0 - 0) 北門 山本 (永)
- E 附属 1 - 1 (0 - 0) 東明 佐藤 (附) 黒沢 (東)

#### 広陵中学校

- B 広陵 0 - 0 (0 - 0) 明星
- A 緑が丘 8 - 0 (1 - 0) 春光台 川口, 豊田, 田端, 0・G, 猪川, 土田 (緑)
- C 忠和 5 - 0 (2 - 0) 富良野西 佐藤, 大西, 石川, 笠松 (忠) 山本 (富)

### 第3節 7月27日（金）

第3節はコンサフィールド東川、啓北中学校を会場に7試合が行われました。啓北会場の第1試合は北門の鈴木がスピードを生かして何度もチャンスをつかみます。しかし、啓北も33分笠原のクロスから藤原が最後は押し込んで同点とします。その後一人退場者を出し10人となった啓北ですが、47分カウンターから藤原が長いドリブル。ラストパスを笠原が冷静に決め2対1で振り切りしました。第2試合は序盤から圧倒的にボールをキープした緑が丘が東陽を圧倒。8分川口の先制点を皮切りに6点を奪い快勝しました。



コンサフィールド東川会場第2試合では神楽・東神楽が決勝トーナメント進出をかけて、春光台と対戦します。9分春光台佐藤に先制点を許した神楽・東神楽ですが、42分に鳥毛が同点シュートを決めると、43分には角田が中央からミドルシュートを決め逆転。45分小澤、59分原田と加点をし、4対1で勝利しました。第3試合では明星と東光が対戦。互いに攻守の切り替えの速いゲーム展開となります。39分明星大森が左足でロングシュートを決めるとこれが決勝点となり、明星が1対0で勝ちグループ2位となりました。

#### 啓北中学校

- D 啓北 2 - 1 (0 - 1) 北門 藤原, 笠原 (啓) 鈴木 (北) [退] 西根 (警告2枚)
- A 緑が丘 6 - 0 (2 - 0) 東陽 川口, 土田, 猪川, 豊田, 久保 (緑)
- B 広陵 9 - 1 (6 - 0) 上富良野 富樫, 大沼, 吉田, 高橋 (広) 中田 (上)

#### コンサフィールド東川

- E コンサドーレ旭川 7 - 0 (5 - 0) 東明 森木, 石井, 宮本維, 高木 (コ)
- A 神楽・東神楽 4 - 1 春光台 鳥毛, 角田, 小澤, 原田 (神) 佐藤 (春)
- B 明星 1 - 0 東光 大森 (東) [警] 大森 (明)
- C HOKUEI 9 - 1 富良野西 本田, 安藤, 吉田, 柏田 (H) 山本 (富)

### 得点ランキング

- |                         |                        |
|-------------------------|------------------------|
| 1. 石井 源 (コンサ旭川1年) 7点    | 12. 加賀美 渉 (東光中学校1年) 3点 |
| 2. 富樫 拓郎 (広陵中学校1年) 6点   | 田端 真一 (緑が丘中学校2年)       |
| 3. 本田 翔也 (北星中学校2年)      | 大森 健介 (明星中学校1年)        |
| 4. 土田 勇吾 (緑が丘中学校2年)     | 高木 昌太郎 (コンサ旭川1年)       |
| 5. 玉田 昌平 (コンサ旭川2年) 5点   | 18. 吉田 圭吾 (広陵中学校1年) 2点 |
| 6. 藤原 翔大 (啓北中学校1年) 4点   | 大西 亮 (忠和中学校1年)         |
| 笠原 宏太 (啓北中学校1年)         | 佐藤 恒 (忠和中学校1年)         |
| 猪川 智博 (緑が丘中学校2年)        | 山本 信司 (永山南中学校1年)       |
| 川口 草太 (緑が丘中学校1年)        | 相澤 玲 (緑が丘中学校2年)        |
| 豊田 将史 (緑が丘中学校1年)        | 大平 純輝 (明星中学校1年)        |
| 森木 健太郎 (コンサ旭川1年)        | 岡本 宏祐 (コンサ旭川1年)        |
| 12. 斉藤 哲平 (神楽・東神楽2年) 3点 | 岸本 裕希 (コンサ旭川1年)        |
| 大沼 健 (広陵中学校1年)          | 山本 稜夏 (富良野西中学校1年)      |